



## ごあいさつ

野々市市文化協会  
会長 内村 榮一



日中の入道雲、夕方には赤とんぼと野々市の季節の移り変わりにも時折風流を感じます。皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、全国椿サミット野々市大会と同時開催となりました記念すべき椿まつり2017は、全国各地よりお集まり頂いた椿愛好家の方々を含め来場者は、二日間で約一万三千人の皆様にお楽しみいただくことができました。

好天の下、本会場では椿や椿にまつわる作品展示、お茶席、舞台披露、講座、各種出店、お楽しみイベント等いずれも最高レベルでのおもてなしができ、またサテライト会場においても新しいまつりの楽しみ方を日々打ち出すことができました。人々の記憶に残る最高のまつりとなりましたことは明らかであり、ここに関係各位に改めて心から厚く御礼を申し上げます。

また、昨年度には『文協三十年誌』を刊行することができました。これまでと比較してより見やすく、そして歴史を積み重ねたことによつてより深く楽しめる内容となつております。

創立30周年が明けた今年は、私たち野々市市文化協会にとって、新たな飛躍の年であり、新天地の一歩を踏み出す大切な年であります。まずは、拠点となる『学びの杜のいちカレード』のお披露目となるイベントの成功に向けて、協会全体が一丸となつて努めて参りたいと思います。

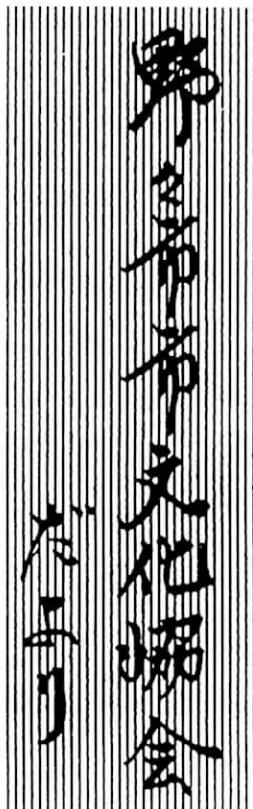
今後とも、各団体並びに各位が益々ご健勝で、市民のご理解ご支援のもと一層活発な活動を推進されてご発展されますことを祈念申し上げ、私の挨拶とさせて頂きます。



サテライト会場の一つ「椿館」



サミットで歌声を披露



第 30 号

発行人  
野々市市文化協会会长  
内村 榮一  
事務所

野々市市教育委員会文化課内  
野々市市三郷一丁目1番地  
TEL (076) 227-6121  
ホームページ <http://bunkyo.nono1.jp/>



~ 第 27 回 全国椿サミット野々市大会同時開催 ~



椿オリジナルステージ



サミットに華を添える



てぬぐいスタンプラリー



椿に魅了され

野々市市文化協会公式キャラクター

## ののぶん

正体は、文化に親しむ野々市市民一人ひとりに存在する DNA で、文化協会を盛り上げる使命に燃えています！



キャラクターの詳しいご紹介は、野々市市文化協会ホームページをご覧下さい。(アドレスは上記)



明るい雰囲気の中にぎわうお茶席



小ホール作品展示



椿に魅了され



野々市市文化協会創立30周年記念パーティー



作品展示

感謝状贈呈式



創立 30 周年記念  
「文協三十年誌」  
の発刊

音楽文化協会  
事業開催に向け準備  
に余念がない現況で  
す。

マナビイフエスタ、  
椿祭りの音楽祭を大  
事にしつつ、本市の  
文化発展への貢献の  
ための新たな起点に  
すべく、組織一丸と  
なってこの記念事業  
の成功に邁進したい  
と思っています。(加  
盟団体数十一団体、  
約百八十人)



今年度創立四十周年を迎えるにあ  
り、幸運にも企画が認められ、石川県  
文化振興基金の申請が通り、関係者一  
同ホッと胸をなでおろしています。企画  
や準備資金にメドが立ち、いよいよ演  
奏会や式典他の記念

## 音楽文化協会

# 加盟団通信

## 野々市じょんから節保存会

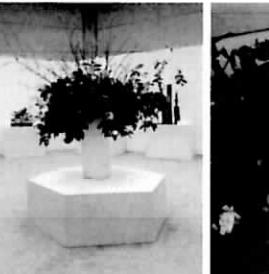
「じょんから」といえば野々市じょんからがすぐ頭に浮かぶほど有名な同市の伝統芸能である「野々市じょんからまつり」。会場内ステージにおいて、最後までお囃子を続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会、学校、企業、又は商店街に講習会や宣伝活動にいそしんでおります。

小中学生対象の「じょんからKIDS」も結成以来十年以上経ちました。どしどし和楽器と触れた。どしどし和楽器と触れ合うチャンスもありますので、入会してみませんか。

又、この機会に専門的に踊りや囃子など習得してみたい方を随時募集しております。保存会事務局の小川(市役所内) (227-6060) 又は森田(243-03)まで。



六月には「定植」、七月は「整板」、八月は「追い込み肥料」をテーマとした講習会を催し、会員の栽培技術のレベル向上を図っています。秋には、赤白黄の色とりどりの大菊が見事に咲き揃うことを皆楽しみにしております。



## 華道協会

平成二十八年度の華道協会の活動は、十月九日・十日「おさきの彩り」で市指定文化財水毛家に伝わるいけばな古文書の復元いけばな展をしました。また、マナビイフエスタでのいけばな展示、そして全

## 盆栽愛好会

国椿サミット大会と同時開催であつた今年の椿まつりでは、市民の方々が大切に育てられた椿を舞台に挿花し、野々市の椿の花でおもてなししました。今年も七月に福井方面への研修旅行を企画し、会員の親睦を深めています。

年1回県内外への親睦旅行も実施しています。お仲間を募集しています。

気軽に参加してみては如何ですか。(入会金・千円、年会費・4千円)



## 囲碁協会

年3回の展示会は会場設営から作品展示と会員みんなの楽しい行事であり、又会員の励みにもなっています。さらに、

また、囲碁の例会は、日曜日の午後より中央公民館

で行っています。いつでもお越し下さい。

中央児童館では、子供達の囲碁

講座も続けています。やってみよう

という子供達、集まってください。



囲碁は子供から寿年まで、幅多く一生を通しての趣味ですね。総会を兼ねての新春囲碁大会、椿まつり大会に沢山会員が集まります。定期的に講師を招いての研修会

六月には「定植」、七月は「整板」、八月は「追い込み肥料」をテーマとした講習会を催し、会員の栽培技術のレベル向上を図っています。秋には、赤白黄の色とりどりの大菊が見事に咲き揃うことを皆楽しみにしております。



## 菊花協会

菊苗の分譲。スタートです

五月十四日に中央公民館で、菊苗の分譲会を行いました。会員をはじめ多数の愛好家にお越し頂き、準備した約三百本の苗をお分けしました。

トです。第七回「菊花展」に向けてのスター

## 椿愛好会

春を告げる一大催事である椿まつりの確は、本会の設立十五周年を記念事業として「花と緑のいち椿まつり」と全国椿サミットの前身「つばきフォーラム」と企画、実施したのが始まりです。

まさに、今年は全国椿サミット野々市大会と椿まつりの併催となりました。

両日とも好天に恵まれ、遠来より多くの爱好者が集い、賑わいと大変意深く好評を得ました。

特に、式典では栗市長より椿を通したまちづくりに功労と名誉ある感謝状をいただき、一同感激しています。

今後とも保存、普及に努め会員を募っています。

※問い合わせ 076-248-4706 乾野まで



## 美術文化協会

創立四十周年記念美術文化協会展にご来場を

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の六部門七十九名の会員が市の美術展と会員展の美術文化協会展で作品を発表します。

今年は協会が設立して四十周年であります。会員の大作を展示いたします。



皆様のご来場を会員一同心からお待ちしております。

また、囲碁の例会は、日曜日の午後より中央公民館で行っています。いつでもお越し下さい。

年一度の美術文化協会展にて

一層の研究鑽を  
努め、また皆の  
親睦を深めてい  
きたいと思つて  
います。



## 吟行 本泉寺にて

季節の移ろいを一句、皆さんも詠ん

俳句協会は毎年の行事として、新年句会、椿まつりやマナビフェスタでの俳句展示、吟行句会、じょんからまり俳句大会、北国街道野々市の市に旧家の軒に作品展示などをを行い、楽しくやっています。

将棋協会

野々市市将棋協会は、昭和五十八年設立された。現在会員数は百名

える皆様が茶席にお越しくださいました。遠方からおいでのお椿サミット参加者の皆様方に、一椀のおもてなしをさせていただきました。



協会では、昨年九月四日、鈴木義長・木村宣彰氏をお招きし、「鈴木義長と茶道」と題した講演会を開催しました。鈴木大拙の思想の一端を、お聞きになりました。

野々市に  
「れあい」の  
に一回読み会  
後感を語り  
て、活字に  
む会です。

そのほか  
郷土の歴史や文学、  
文化の結び付きにふ  
れる「文学散歩」や「合  
同読書会」を開催し、  
親睦を深めています。  
そしてマナビファエ  
スタと椿まつりには  
おられます。

一員に加わりませ  
んか。お待ちをして  
おります。

讀書會  
連絡協議會

野々市には、「野露」「すずかけ」「ふれあい」の三つの読書会があります。月に一回読みたいテキストを選び、熱く読後感を語り合っています。読書を通して、活字に親しみ、豊かな人間性を育む会です。

茶道協会

また、ツトと同  
になつた  
偕まつりで  
白人を超  
様が茶席  
じください  
遠方から  
の椿サミツ  
者の皆様  
一椀のお  
じをさせて  
きました。

短歌協会

り来場の方々に配布し、広く短歌に触れて頂きたく活動をしていました。今年は二十年の節目という事で、まず身近な兼六園・玉泉院庭園にて吟行を行いました。



短歌協会は設立二十周年を迎え、昨年は長らく会長をやつてこられました。香城さんの功労賞は会員の大きな喜びでした。

短歌協会はマナビイフエスタや椿まつりに作品を展示し、作品の冊子を作り来場の

社交ダンス愛好会  
及び会員相  
ることを目  
る。中央公民  
八月からは  
て毎週火曜日  
ます。講師は  
妻を迎えて樂  
導をいただいて  
す。

社交ダンス  
愛好会

社交ダンス愛好会は会員の健康増進及び会員相互の親睦を図り、楽しく踊ることを目的としています。

中央公民館の建替えのため、今年の八月からは富奥公民館へ場所を変更して毎週火曜日に団体レッスンをしてい

間入りし、会員の減少に歯止めが掛かった等、明るい一年でした。今年も一般会員、鳴門会員、子供会員各々の立場で発表の舞台も盛り上げて参ります。



能楽愛好会  
全国稽古サミットが野々市で開催され、文化協会にとつて素晴らしい一年でした。当愛好会でも実り多い年でした。野々市では初めての薪能の開催、子供教室の受講生が六名にまで増えました。そして、笛や太鼓の鳴物を学ぶ人達が仲間入り、会員の

来るたる八月  
回野々市市民  
より、をフォル  
より開催いた  
会員一同、  
目指しながら  
是非、皆様  
は市役所の文化課担当  
迄、お問合せ願います。

民謡協會

来るたる八月二十日(日)に、第二十八回野々市市民謡协会発表会「民謡まつり」をフォルテ大ホールにて午前十一時より開催いたします。

会員一同、楽しみながら、又上達を目指しながら練習に励んでおります。



魚源野中小佐中柳村宮岩又山口  
住野々野堀久川田上崎脇多間  
市  
辰孝一由正慎昭好一子昭（文化協会副会長）  
民雄孝修久（文化協会副会長）  
（能楽愛好会）  
（美術文化協会）  
（椿愛好会）  
（音楽文化協会）  
（讀書会連絡協議会）

創立三十周年記念  
感謝状受賞者

三十年間で役員等として特に功勞があつた方、また特に功績をあげられた方へ贈呈。（敬称略）



香城 清子  
(短歌協会)



魚住 慧子  
(読書会連絡協議会)



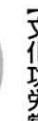
源野 辰一  
(団碁協会)



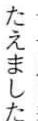
柳田 正久  
(文化協会前理事長)



久保 昇  
(じょんから節保存会)



源野 辰一  
(文化協会前理事長)



久保 昇  
(じょんから節保存会)

野々市市  
文化活動の功労功績をたたえる  
文化協会表彰



茶道協会  
竹澤 和枝さん

源野辰一氏におかれましては、今年四月に永眠されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

わが協会にこの人あり

☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



中村 久子さん  
短歌協会

中村久子さんは、短歌協会設立に大変尽力をされ、その後も変わることなく理事として短歌協会を支えて下さっています。眞面目で努力家で、書や華道にも秀でる、才能豊かな方です。そして、ここぞという時にはしつかり発言をされて助けてくれます。又、いつも手作りのお野菜や美味しいお菓子をさりげなく持参して下さって、会員を労つて下さる優しい方です。お歌もお上手で、優れています。新聞や大会に入賞されて、私達にやる気を起こして下さいま。年齢を感じさせない若々しい方です。これからも健康に留意してご活躍くださることを願っています。

日本の伝統文化の茶の湯 裏千家 宗美先生に小さい頃から日常生活の立ち居振る舞いや茶道の役割を教えられて育ち、結婚してから本格的に稽古を始められた、竹澤さん。茶道の「道・学・実」を庭田先生より指導され、たゆまず稽古に励まれました。道としての茶の湯と、和敬静寂の精神、人の心と豊かさと和らぎを伝えることを自覚して、平成九年に茶道協会へ入会されました。平成二十六年には役員に選出され、二十七年より副会長として茶道協会で活躍されています。子どもにお茶を教え、中学校の学校茶道、野々市公民館の抹茶サークルで若い人を指導しています。若い人にお茶を教えるとともに協会の発展に期待する人です。

平成29年度 野々市市文化協会役員		
職名	氏名	所属団体
顧問	栗 貴章	野々市市長
	早川 彰一	野々市市議會議長
	吉田 修	石川県議會議員
	徳野 光春	石川県議會議員
	堂坂 雅光	野々市市教育長
	帆刈 宏典	前文化協会会长
参与	奥村誠一路	前文化協会副会長
	柳田 正久	前文化協会理事長
	山口 正昭	前文化協会副会長
会長	内村 篁一	
副会長	又多 好子	
	岩脇 銑一	
	柿本 昭博	
理事長	高見 重任	
副理事長	土屋 幸栄	
	田村 玲甫	
常任理事	中村 昭一	じょんから節保存会
	馬淵 昭夫	菊花協会
	宮崎 昭男	椿愛好会
	岩脇 銑一	美術文化協会（兼務）
	柿本 昭博	音楽文化協会（兼務）
	西保 淳甫	華道協会
	山科 哲次	盆栽愛好会
	大西 英明	団碁協会
	西本 正明	将棋協会
	奥田満喜子	読書会連絡協議会
	中村 三明	社交ダンス愛好会

文化協会 加盟団体一覧				
団体名	代表者	設立年	会員数	
1 野々市じょんから節保存会	朝倉 忠雄	昭和35年	66名	
2 菊花協会	中川 修	36年	23名	
3 椿愛好会	宮崎 昭男	49年	44名	
4 美術文化協会	竹田 明男	52年	78名	
5 音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	177名	
6 華道協会	西保 淳甫	53年	63名	
7 盆栽愛好会	山科 哲次	54年	33名	
8 団碁協会	大西 英明	57年	62名	
9 将棋協会	西本 正明	58年	109名	
10 読書会連絡協議会	奥田満喜子	61年	27名	
11 社交ダンス愛好会	中村 三明	61年	21名	
12 民謡協会	山口 正昭	平成元年	72名	
13 俳句協会	坂井 菁子	3年	39名	
14 茶道協会	藤 力	5年	71名	
15 短歌協会	中西名菜子	7年	14名	
16 能楽愛好会	地崎 弘吉	16年	23名	
計				922名

平成29年度 主な事業計画		
月 日	事 業 名	場 所
8月1日	文化協会だより30号発刊	市内全戸配布
9月1日~10日	野々市市美術展後援	カメリア
9月29日	研修旅行（砺波市文化協会と交流会）	富山県方面
10月22日~11月3日	ののいちマナビフェスタ2017協賛	フォルテ、カメリア、郷土資料館
11月3日	文化協会表彰贈呈式	カメリア
11月25日・26日	BIG APPLE in NONOICHI 2017協賛	フォルテ
11月~平成30年3月	地域文化活性化事業「大人のしゅみ活はじめませんか?」	カレード
平成30年1月上旬	新年親睦パーティー	フォルテ
3月17日・18日	花と緑ののいち椿まつり2018	フォルテ、教育センター、中央公園